

立川の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 25点 大問4 35点 大問5 20点

2024年度試験問題

目標点 60点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
(1)	秘匿	A	2	問1	内容把握	B	4
(2)	潤む	A	2	問2	内容把握	B	4
(3)	才媛	A	2	問3	内容把握(60字記述)	B	8
(4)	曖昧	A	2	問4	内容把握	B	4
(5)	多岐亡羊	B	2	問5X	内容把握	B	3
大問2	漢字の書き			問5Y	内容把握(50字記述)	B	8
(1)	フクワジュツ	B	2	問6	内容把握	B	4
(2)	メイキュウ	A	2				
(3)	ニガイ	A	2	大問5	現古融合文		
(4)	パイニック	B	2	問1	内容把握	A	4
(5)	ゲバヒョウ	A	2	問2	内容把握	A	4
大問3	小説文			問3	内容把握	A	4
問1	心情把握	A	5	問4	助動詞	A	4
問2	心情把握	A	5	問5	内容把握	B	4
問3	心情把握	A	5				
問4	心情把握	B	5				
問5	心情把握	B	5				

問題分析

1 漢字の読み 2 漢字の書き 3 小説文(約4000字)
4 論説文(約4000字) 5 現古融合文(約4300字)

講評 昨年度よりは難易度が高い

昨年と同様に200字作文は今年も出題されなかった。

丁寧に読みながら、全問を解答してほしいことの表れと言える。

1, 2 「才媛(さいえん)」「多岐亡羊(たきぼうよう)」が正しく読めるかどうか。

「メイキュウ=迷宮」「ゲバヒョウ=下馬評」を書けるように。

3 逸木裕 「風を彩る怪物」

心情が明確で比較的、読みやすい。記述はなし。

4 池上嘉彦 「記号論への招待」石黒圭 「日本語は空気が決める」

二つの文章の出題は3年連続。過去問で形式に慣れること。

記述2題(60字と50字)

①筆者の主張の要点 ②先生と生徒の対話文完成

5 齋藤希史 『漢文ノート-文学のありかを探る』

昨年より引用古典が難しく、文章も難しい。ただし、解説文をしっかり

読めば解くことが出来る。

立川の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点

2024年度試験問題

目標点 50点(創造理数科志望の場合は60点)

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問3	平面図形		
問1	根号を含む計算	A	6	問1	線分の長さ	A	7
問2	連立方程式	A	6	問2(1)	相似の証明(記述)	B	11
問3	確率	A	6	問2(2)	三角形の面積	C	7
問4	作図	B	7				
				大問4	空間図形		
大問2	関数			問1	四角すいの体積	A	7
問1	比例定数①	A	7	問2	最短経路	B	7
問2	比例定数②(記述)	B	11	問3	立体の体積比(記述)	C	11
問3	回転体の体積比	B	7				

問題分析

1 小問集+作図 2 関数 二次関数

3 平面図形 4 空間図形

講評 大問数は4題。配点も各25点。傾向もほぼ例年通り。

大問1の小問数が1題減ったのでその分、平均点は高くなった。

1 小問が4題出題。昨年より1問減。配点が上がリ、
よりミスができない状況になった。

2 2次関数の定番問題が出題。

問3では回転体の体積比が受験生を苦しめる問題となった。

3 相似な三角形に注目して、辺の長さを求めることや

証明をすることがスムーズにできるかどうか。

4 立体の表面を通る最短距離が出題。

見取図→展開図への移行がカギ。

立川の英語

配点 大問1 20点 大問2 40点 大問3 40点

2024年度試験問題

目標点 62点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	リスニング			大問2	問7 適語句補充	A	4
問題A	対話文1 内容一致	A	4	問8	内容一致	C	4
	対話文2 内容一致	A	4	問9	条件付英作文	D	8
	対話文3 内容一致	A	4	大問3	物語文読解		
問題B	Q1 内容一致	A	4	問1	理由把握	A	4
	Q2 内容一致記述	B	4	問2	内容把握	B	4
				問3	英文整序	C	4
大問2	対話文読解			問4	適語補充	C	4
問1	理由把握	A	4	問5	適語補充	C	4
問2	適語補充	B	4	問6	語順整序	C	4
問3	適文補充	B	4	問7	内容把握	A	4
問4	内容把握	C	4	問8	理由把握	A	4
問5	語順整序	B	4	問9	内容一致	C	4
問6	適文補充	B	4	問10	メール文完成	C	4

問題分析

1 リスニング

2 対話文(約1400語) 3 物語文(約1500語)

講評

難易度・設問形式など昨年度とほぼ同じ。

1 BのQ2の正答率が低い。単語スペルミスや冠詞の付け忘れなどに注意。

2 石や岩、地熱について

理系の内容の英文は頻出。他自校作成校の過去問を利用して経験を積むことが有効。

3 物語文 Takeshiという高校生について

文量、設問とも多いので読みながらテンポよく問題処理する必要あり。

※網掛けが濃い設問は記述の設問です。

難易度の標記

A: 易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上

B: 標準(落とせない) 目安→正答率79~60%

C: やや難問(合否を分ける問題) 目安→正答率59~40%

D: 難問(1問でも出来ればよし) 目安→正答率39~11%

E: 超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下

普通科 2024目標点 英数国170+理社170=340

目標内申 59/65

創造理数科 2024目標点 英数国180+理社180=360

目標内申 62/65